

事業所における健康づくり等に関するアンケート調査

1 目的

県西地区地域・職域連携推進協議会において、次の2つを共通取組目標に定め、取組を開始することとなった。

- ① 大腸がん検診の受診率を向上させる
- ② 従業員の喫煙率を低下させる

上記目標の内容を踏まえたアンケート調査を定期的実施することにより、県西地区の状況の推移を共有できるようにする。

2 対象者

県西地区（2市8町）の事業所

3 実施方法

構成員の協力により対象事業所を選定し郵送、ファクシミリによる回答を依頼（経済センサスの従業者規模8区分を参考に同比率でアンケートを配布する）。

4 実施時期

- ① 令和元年11月下旬～12月上旬（箱根町を除く2市7町）
- ② 令和2年10月下旬～11月上旬（箱根町のみ）

5 実施周期

3年に1度程度

6 アンケート結果

① 大腸がん検診の取組について

- ➡正社員、非正規社員ともに大腸がん検診を案内していない事業所が5割程度と多い。
- ➡大腸がん検診を実施している、もしくは他の実施機関の健診を受診している事業所の割合は県内事業所の正規社員受診率より多かったが、未受診者対応が不十分な事業所が7割以上であった。

② たばこ対策について

- ➡従業員の喫煙率は、県民の喫煙率よりも高かった。また、従業員数が多いほど喫煙率が高まる傾向にあった。
- ➡従業員のたばこ対策について、喫煙場所の設定により受動喫煙防止への配慮がなされているようだが、それ以外の取組みは「特にしていない」が多かった。